

日本リハ医学会近畿地方会Newsletter



平成23年度 第1号
2011年7月15日発行

近畿地方会ホームページ
www.kinkireh.com

日本リハビリテーション医学会 近畿地方会事務局
大阪医科大学 総合医学講座リハビリテーション医学教室 田中 一成

お問合せ先
〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地 KRP6号館304号
有限会社 セクレタリアット内 近畿地方会事務局
TEL: 075-315-8472 FAX: 075-315-8472 E-mail: office@kinkireh.com



日本リハ医学会 震災ワーキンググループ活動報告

大阪医科大学 総合医学講座リハビリテーション医学教室
佐浦 隆一

まず、東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

未曾有の被害をもたらした3月11日の東日本大震災の発生直後から日本リハビリテーション医学会(以下、リハ医学会)では、交通機関が麻痺し多くの人々が帰宅難民化するなかで、余震などの恐怖と闘いながら里宇明元理事長以下、事務局が役員、評議員などの安否確認と被災地の情報収集を即座に始めました。そして、続々と安否情報が伝えられるなか、理事長は災害現場のニーズと提供可能な支援との橋渡しを関連団体と協力しながら遅滞なく行うことがリハ医学会の重要な役割であると判断され、阪神淡路大震災を経験している住田幹男監事、菅俊光理事と私に震災ワーキンググループ(以下、震災WG)を設置し、具体策を検討するように指示されました。

しかし、我々も阪神淡路大震災後16年を経て当時の記憶は薄れてしまっており、また、今回は地震のみならず津波の被害が甚大で、かつ被害が岩手県、宮城県、福島県など広域に及んでいることから、我々の経験だけでは対応困難と危惧しましたが、初回震災WGでは住田監事、菅理事、田中一成近畿地方会代表幹事、中土保副代表幹事のほか、巡り合わせか、災害時の医療、特にDMATを専門とした富岡正雄前・兵庫県災害医療センター救急部長が大阪医大近隣の病院に異動されており、震災WGへの参加を要請しました。

まず、富岡前部長に震災後のリハ・生活支援に関するリハ医学会としての対応などについて意見を求めたところ、①リハ医学会が対応すべき災害医療は、急性期医療と異なり継続性と安定性が必要である、②リハ医学会には災害地で活動するノウハウが少なく、単独での活動には問題が多い、③災害医療には拠点となる組織(Command & Control)が必要であり、次に、人、物、交通・物流などの安全性の確保(Safety)、その上

で外部との水平方向での情報共有ルートの構築と垂直方向の組織内での情報収集(Communication)と評価(Assessment)を行い、正しい判断と方向性に基づいた具体策を実施することが必要であるが、これらは「CSCA」と呼ばれ、災害対応に不可欠な基本事項であるとの助言を得ました。

この助言に基づいて震災WGは、理事長に東北大学(上月正博理事)などを中心とした組織の立ち上げとその後の方向などを提言しました。また、理事長からの要請に応じて、近畿地方会でも幹事が中心となり、リハ患者受け入れリストの作成とリハ医学会HP掲示板への情報提供を連日のように行いました。

一方、内閣府中央防災委員会の肝いりで始まったリハ・生活支援活動は、CSCAがおさなりにされ、一部地域への派遣だけで頓挫しましたが、4月中旬には震災WGの提言を生かし事務局機能を強化した東日本大震災リハ支援対策本部が設置され、リハ医学会を中心としたリハ関連10団体による被災地のリハ・生活支援活動が始まり、現在も継続されています。

震災発生後100日を過ぎ、震災WGの当面の役割は終わりましたが、被災地のリハ・生活支援の必要性はますます増大しています。今後も近畿地方会の会員各位の息の長い支援をお願いして、稿を終えたいと思います。

日本リハビリテーション医学会 公益法人化について

関西医科大学附属滝井病院 リハビリテーション科
菅 俊光

平成23年6月3日に開催された日本リハビリテーション医学会(リハ医学会)総会において、リハ医学会の公益法人化にむけての定款の変更が承認されました。正式にリハ医学会は社団法人より公益法人への移行を目指すことになりました。これに伴い現在の評議員制は代議員制に変更となり、その定員数も250-300名程度になります。現在の評議員数は約200名ですので、代議員数は現在の1.5倍に増員されることとなります。また、前回評議員選挙で近畿地区に割り当てられた評議員数は38名ですが、次回代議員選挙でも近畿地区会員数に応じて代議員数が近畿地区に割り当てられ約55~60名程度になりそうです。

次に代議員選挙についてですが、総会で示された日程表では、2011/8/19(金):選挙告示、2011/9/20(火):立候補締め切り、2011/10月下旬:地区毎に候補者名簿・所信表明公示、11月下旬-12月上旬:選挙というスケジュールになっています。代議員の立候補条件も、これまでの評議員では「入会10年以上、評議員2名の推薦が必要」でしたが、代議員では「正会員でかつ正会員2名の推薦があればよい」と緩和されました。

このような状況で、近畿地方会としてどのようなアクションができるのかあるいはすべきかを検討中です。方針が決まりましたら、近畿地方会ホームページに掲載いたしますのでご参照下さい。

CONTENTS

- ◆ 日本リハ医学会震災ワーキンググループ活動報告 1頁
- ◆ 日本リハビリテーション医学会公益法人化について 1頁
- ◆ 地方会誌のWEB化について 2頁
- ◆ 新幹事の抱負Part2 2-3頁
- ◆ 新専門医に聞く 3-5頁
- ◆ 施設紹介(第10回) 5頁
- ◆ 第31回日本リハビリテーション医学会
近畿地方会学術集会 会長挨拶 6頁
- ◆ 第31回近畿地方会開催概要 6頁
- ◆ 第6回日本リハビリテーション医学会専門医会
学術集会開催のお知らせ 7頁
- ◆ 2011年度近畿地方会研修会カレンダー 8頁
- ◆ 編集後記 8頁